

クローズアップ



建物外観

早稲田大学 早稲田キャンパス新3号館

森 雅 則

(Masanori Mori)

東芝エレベーター株式会社
海外事業本部 海外技術部

1. はじめに

「早稲田大学早稲田キャンパス3号館」は早稲田大学正門から向かって右側、大隈銅像と大隈講堂の間に位置し、キャンパスを象徴する建物です。1933年に建設された旧3号館は、主に政治経済学部の校舎として多くの人材を世に送り出してきましたが、老朽化に伴いリニューアルされ、新3号館として甦り、伝統を次世代につなげる建物として竣工しました。

旧館と中庭を再現した再現棟と先進的な空間を備えた高層棟の2つの棟を繋ぐ特殊な構造の建物であるため、建築の新旧技術を取り入れています。再現棟では旧校舎の瓦や鉄製扉を再利用し、旧館正面と1階ホールの中庭を再現しています。また高層棟では高い耐震性能を備えた建物構造、太陽の光や熱を利用した環境への負荷を抑える発電・空調システムを実現しており、新しさと歴史を兼ね備えた新校舎となっています。

2. 建物概要

所在地：東京都新宿区西早稲田一丁目6番1号
 建築主：学校法人早稲田大学
 設計監理：株式会社 久米設計
 施工：戸田建設株式会社
 建物用途：大学
 敷地面積：73,673.09㎡
 建築面積：2,340.59㎡
 延床面積：28,525.21㎡

構造：鉄骨造 一部鉄骨鉄筋コンクリート造
鉄筋コンクリート造

階床数：地下2階、地上14階、塔屋1階

建屋高、軒高：59.64m

工期：2012年8月～2014年9月

竣工日：2014年9月

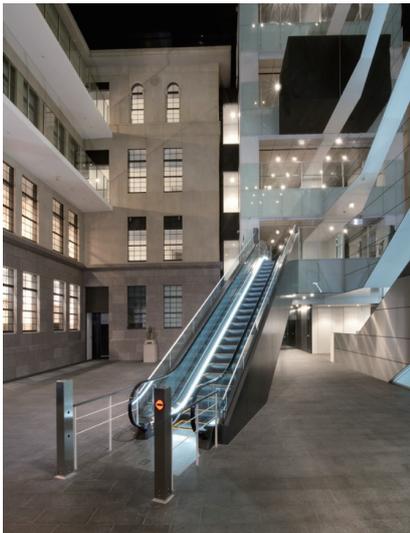
3. 昇降機設備

昇降機設備は、エレベーターが乗用2台、非常用2台、エスカレーターが20台、合計24台が設置されています。

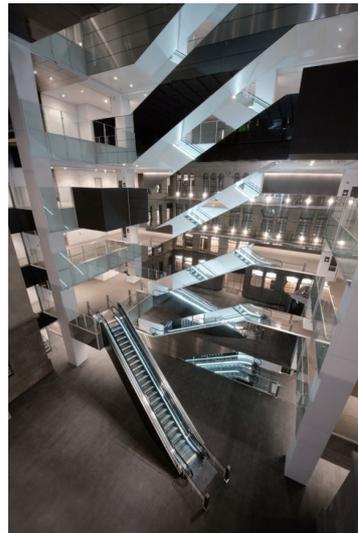
エスカレーターは、1階から10階の教室まで交差形に配置され、学生の動線のメインとなっています。エントランスの吹き抜けに面した部分はアルミ複合板建材パネルによる転落防止フェンスとなっており、1階から5階は鏡面仕上げ、5階から10階はヘアライン仕上げとなっています。反対側の再現棟を鏡面部分に映し出すことにより、建物のコンセプトの一つ「旧3号館中庭景観の再現」を実現する意匠となっています。

エレベーターは主に11階より上の研究室等へ向かう動線となっています。乗場の意匠はステンレス製ヘアライン仕上げの枠と幕板、乗場ボタンになっています。乗用エレベーターには防犯窓、非常用エレベーターにはセキュリティカメラを設け、さらに乗場、かご内の両方にカードリーダーが設置され高いセキュリティ性能を備えています。

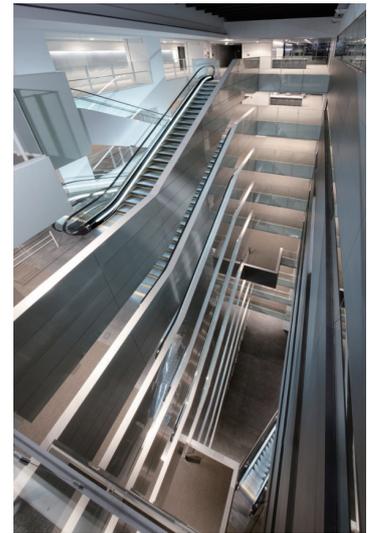
クローズアップ



エントランスホール エスカレーター



再現棟内エスカレーター



高層棟内エスカレーター



エレベーター乗場



エレベーターかご内

エレベーター仕様 (計 4 台)

号機	用途	制御方式	運転方式	積載質量 (kg)	定員 (名)	速度 (m/min)	台数 (台)	停止階床数 (サービス階)	メーカー	備考
EV1	乗用	インバーター	全自動群管理方式	1150	17	105	1	14 (B1, 1 ~ 4, 6 ~ 14)	東芝	車いす仕様
EV2	"	"	"	1150	17	105	1	15 (B1, 1 ~ 4, 6 ~ 14, PH)		"
EV3	非常用	"	"	1150	17	105	1	14 (B1, 1 ~ 4, 6 ~ 14)		"
EV4	"	"	乗合全自動方式	1150	17	105	1	16 (B2, B1, 1 ~ 14)		"

エスカレーター仕様 (計 20 台)

号機	形式	欄干意匠	速度 (m/min)	サービス階	階高 (揚程) (mm)	台数 (台)	メーカー	備考
ES1, 2	S600	透明ガラス	30	B1-1	5000	2	東芝	光電ボール付き自動運転 (停止待機) スカートガード照明 スカートガードブラシ
ES3~20	S1000	透明ガラス	30	1~10	4200~5300	18		